

機関番号： 84601

研究種目： 基盤研究 (C)

研究期間： 2007～2010

課題番号： 19611023

研究課題名 (和文) 指定品の展示・収蔵状況の実態調査 ～考古資料を中心として～

研究課題名 (英文) Investigation of the actual conditions of archaeological objects designated as national treasures and important cultural properties during the exhibition and storage

研究代表者

岡本 広義 (OKAMOTO HIROYOSI)

財団法人元興寺文化財研究所・研究部・学芸員

研究者番号： 70261211

研究成果の概要 (和文)：文化財の適切な管理は、温度や湿度管理、地震などに対して予防的措置を行うことが必要である。また定期的な点検が不可欠である。そのうえで国宝や重要文化財については、各機関の実態に応じて問題を解決することが重要である。

研究成果の概要 (英文)：It is important to solve of the problem and to improve the management of specified goods according to the realities of each organization if taking precautions against the temperature, the humidity management, and the earthquake and regular checks are done.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2008 年度	700,000	210,000	910,000
2009 年度	700,000	210,000	910,000
2010 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：博物館学・保存科学・考古学

科研費の分科・細目：博物館学

キーワード：指定品、考古資料、保存処理・修理、展示・収蔵環境、実態調査

1. 研究開始当初の背景

考古学、博物館学や保存科学研究者・担当者から指定品を含め保存処理・修理後遺物の経年変化や保管環境に関する調査や研究の必要性が提唱されていた。しかし本格的な調査・研究はその途についたばかりであった。

加えて、「指定品」であれば、当然展示や収蔵方法には十分に配慮され、より良い環境の下で管理されていると判断していたが、実態を把握すると調査研究に基づく改善の必要性を痛感した。

2. 研究の目的

平成17年度に実施した重要文化財「広島県草戸千軒町遺跡出土品」の保存処理・修理後遺物の調査においては、保存科学的見地に加え、考古学的見地からの展示方法、博物館における公開、活用に向けての取扱いや耐震問題などに関する検討を行い、報告書を刊行した。

さらに、この調査の過程で明らかとなった課題や改善すべき点は、指定品の保管管理に

関する研究において、示唆的な成果になる確証を得た。

保存処理・修理を行った資料は、必ず再処理・修理が必要であり、文化庁が毎年指定品における修理事業を進めているが、本調査の成果は将来的な再処理（修理）に向けての基礎的なデータ提供となることが期待できる。

3. 研究の方法

基本的に年度ごとに地域区分をして、当該区域の指定品を現地調査することとした。なお緊急的に調査すべき機関は優先した。

調査対象遺物は、考古資料を中心として保存処理・修理後の指定品以外にも、未処理の指定品も対象とした。

設備的には、展示施設及び収蔵施設に区分し、建物構造・空調・温湿度・照明・使用材料・真菌類などの調査を行った。

調査を行った機関には、その成果を口頭で伝達または報告書として提出した。

4. 研究成果

調査の結果、保存科学担当者が配属されている機関では、遺物管理や施設管理は大きな問題ないし、展示方法にも指定品にダメージが無いように工夫が認められる傾向がある。

しかし、保存科学担当者がいない機関や小規模機関では、温湿度データや処理・修理前後の記録データの紛失などが認められるし、展示替えがなく同一資料の長期展示などを行っていた。

最も重要な課題は、日常的な点検であるが、聞き取り調査でも、実施している機関はほとんどない。この結果再処理（修理）が必要であっても気づいていない現状がある。

調査した各機関の成果は、『研究成果報告書』にまとめて刊行した。

5. 発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計1件）

伊藤健司

「出土木器の保管管理」『木・ひと・文化～出土木器研究会論集～』 2009 p323～330

〔学会発表〕（計1件）

伊藤健司・山田卓司・辻村希里子・桃井宏和・岡本広義

「指定品の展示・収蔵状況の実態調査～関東以北の地域を中心に～」 日本文化財科学会 2009年7月11日・12日 名古屋大学

〔図書〕（計1件）

岡本広義ほか5名

『指定品の展示・収蔵状況の実態調査』
2011 （財）元興寺文化財研究所

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

岡本 広義 (OKAMOTO HIROYOSHI)

(財)元興寺文化財研究所 研究部 学芸員
研究者番号：70261211

(2) 研究分担者

伊藤 健司 (ITO KENJI)

(財)元興寺文化財研究所 研究部 研究員
研究者番号：00176330

山田 卓司 (YAMADA TAKASHI)

(財)元興寺文化財研究所 研究部 研究員
研究者番号：30435903

辻村 希里子 (TUJIMURA KIRIKO)

(財)元興寺文化財研究所 研究部 学芸員
研究者番号：20435902

桃井 宏和 (MOMOI KAZUHIRO)

(財)元興寺文化財研究所 研究部 研究員
研究者番号：50510153

(H20→H22)

山岡 奈美恵 (YAMAOKA NAMIE)

(財)元興寺文化財研究所 研究部 技師
研究者番号：90372169

(H21→H22)

(3) 連携研究者

なし

